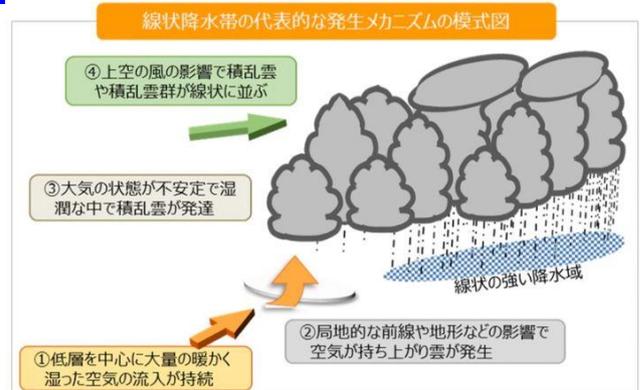


# 情報 ひがし労

## 各地で線状降水帯による大雨被害発生!

～自分の命は自分で守る!～



### 宮城県大崎市では、名蓋川が決壊

台風4号が今月、上陸して広い地域に大雨をもたらし、各地に局地的な豪雨が降りました。多くの犠牲者を出した2018年の西日本豪雨をはじめ、近年は7月に水害が相次いでいます。**大切なのは、早めの避難!**線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫には、厳重に警戒しなければなりません。災害時には家族がバラバラに避難することも考慮して、安否確認の方法を事前に共有しておくことをおすすめします。自宅にいる場合は近所の避難場所、仕事や学校に行っている場合の避難所など、事前に避難場所を想定しておくで安心です。

また、ハザードマップを確認し、災害リスクについて家族で話し合っておくと、より防災意識への理解が深まります。また素早く家族の安否を確認するため、安否情報サービスなど全員が利用できるサービスの使い方も確認しておいてください。命を守るためには、誤った情報をうのみにし、拡散することがあってはなりません。命を守るために私たち自身が、日頃から防災に気を付けることです。

### 線状降水帯のメカニズム

警戒レベルとキキクル					
相当する警戒レベル	キキクル	自治体の避難情報	状況	取るべき行動	
高	5 黒	災害切迫	緊急安全確保	災害が発生または切迫	命の危険があり直ちに安全確保
〈警戒レベル4までに必ず避難〉					
	4 紫	危険	避難指示	災害発生のおそれが高い	危険な場所から全員避難
	3 赤	警戒	高齢者等避難	災害発生のおそれがある	危険な場所から高齢者らは避難
	2 黄	注意		気象状況の悪化	自らの避難行動を確認
低	1			今後、気象状況悪化のおそれがある	災害への心構えを高める

**日頃から災害に対する備えと警戒を!**

